平成25年6月25日

各 位

上場会社名　岡野バルブ製造株式会社
代表者　代表取締役社長 岡野　正紀
（コード番号　6492）
問合せ先責任者　取締役総務部長 岡野　武治
（TEL　093-372-9214）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年1月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,718	△198	△135	△145	△8.19
今回修正予想(B)	2,915	△275	△195	△120	△6.79
増減額(B-A)	△803	△77	△60	25	
増減率(%)	△21.6	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年11月期第2四半期）	4,718	382	483	260	14.71

平成25年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,672	107	182	110	6.21
今回修正予想(B)	8,202	40	180	75	4.24
増減額(B-A)	△470	△67	△2	△35	
増減率(%)	△5.4	△62.6	△1.1	△31.8	
（ご参考）前期実績（平成24年11月期）	8,347	338	458	197	11.14

平成25年11月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,717	△200	△140	△150	△8.47
今回修正予想(B)	2,913	△290	△210	△130	△7.36
増減額(B-A)	△804	△90	△70	20	
増減率(%)	△21.6	―	―	―	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年11月期第2四半期）	4,717	331	433	231	13.04

平成25年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年12月1日～平成25年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,670	100	170	100	5.65
今回修正予想(B)	8,200	20	160	60	3.40
増減額(B-A)	△470	△80	△10	△40	
増減率(%)	△5.4	△80.0	△5.9	△40.0	
（ご参考）前期実績（平成24年11月期）	8,343	269	402	169	9.57

修正の理由

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを事業の柱とする当社グループにおきましては、国内原子力発電所再稼働問題の方向性が定まらない中、依然として厳しい事業環境が続いております。また、国内電力政策が流動的であることからバルブ事業、メンテナンス事業ともに受注案件の売上時期も流動的となっており、正確な業績予想数値の算出が困難な状況にあります。

このような状況の中、第2四半期（平成25年3月～5月）に入り、バルブ事業は国内向け・海外向けともに概ね期初の計画どおりに進捗しておりますが、メンテナンス事業において、主に原子力発電所向けの施工案件や復興関連工事が延期や中止になったことなどから、第2四半期連結累計期間において当初予定していた売上高を大幅に下回ることとなり、また、損益面におきましても、コスト削減策を継続して推進しておりますが、メンテナンス事業での売上高の絶対量不足と未稼働人件費の増加による利益圧迫から期初予想以上の営業損失を計上する見込みであります。

昨年までは震災前に受注した大型案件等の売上計上もありましたが、震災から2年余りが経過し、特にメンテナンス事業において震災以降も継続してきた原子力発電所向け施工案件が一段落したことにより、当社グループとしては非常に厳しい時期を迎えております。当社グループの業績につきましては、これまでメンテナンス事業での収益が主軸となっておりましたが、原子力発電所再稼働問題の長期化が避けられない予測から、メンテナンス事業の短中期的縮小をバルブ事業にて補填すべく注力しております。震災以降注力してきたバルブ事業拡大に向けた諸施策は、現在次第に受注案件という形で成果を得つつあるものの、当社のバルブ製品は受注から納入までに相当な期間を要するものが多く、短期的に成果を出すことが難しい事業であります。また、バルブ事業の拡大に伴い、人的資源の有効的配置転換は進めておりますが、物理的問題による限界もあることから、メンテナンス事業未稼働人件費による利益圧迫は当社グループにおける当面の大きな経営課題となっております。下期につきましては、バルブ事業において短納期の大型受注案件が売上計上されるなど、売上高はこれまでの不足を一定程度カバーできる見込みでありますが、利益面は前述のとおり引き続き厳しい状況で推移するものと思われます。

これらの結果、売上、利益ともに期初予想を下回る見込みとなりましたので、通期の予想とあわせて修正するものであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 （平成25年1月11日発表）	―	4.00	―	4.00	8.00
今回修正予想	―	0.00	―	4.00	4.00
当期実績	―	―	―		
前期実績 （平成24年11月期）	―	4.00	―	4.00	8.00

修正の理由

上記の業績予想修正理由に記載いたしましたとおり、当連結会計年度の業績において特に営業利益が期初予想を大幅に下回る見込みであります。従いまして、誠に遺憾ではございますが、当期の中間配当金につきましては無配とさせていただきます。なお、期末配当につきましては期初の予定どおり1株あたり4円を予定しております。

株主の皆さまには誠に申し訳なく存じますが、収益の早期回復に向けて全力を挙げて取り組んでまいりますので、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

以 上